

多世代交流拠点づくり【第3回】ワークショップNEWS

第3回目のワークショップを開催しました！

○開館に向けて最終段階！～名称やイベント～

第1回目、第2回目のワークショップでは、「どんな施設にしたいか」「どんな活動をしたいか」の施設のイメージや、実際の運営体制や施設のルールなどを話し合ってきました。

今回は、これまでの意見を踏まえて作成した運営計画を基に、施設の名称やオープニングイベントなどについて話し合いました。



運営計画(案)としての説明概要

開館日

- ・土、日曜日を含めた週5日程度を想定
- ・休館日は、月、水曜日を想定
- ・休館日の施設の開放については、申請があれば利用可能
(休館日の鍵の管理体制を決めておく必要あり)

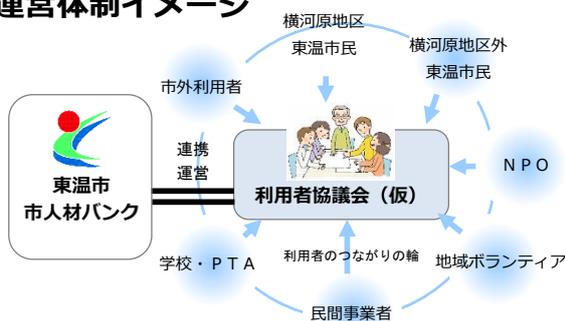
開館時間

- ・10時から18時までの8時間程度を想定

使用上のルール

- ・原則、利用した団体又は個人が施設の清掃を行う
- ・鍵の貸出しについては、地域団体等との協議が必要

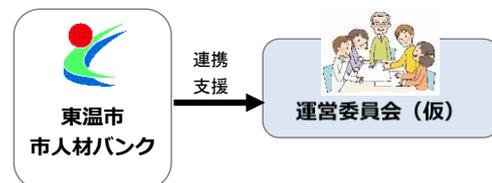
運営体制イメージ



○軌道に乗るまでの間、東温市がスタッフを配置して運営

将来展望

地域と利用者が一体となった
自立的な運営を目指します



○利用者協議会(仮)から運営委員会(仮)へ移行を推進する

～お披露目会のご案内～

正式オープンを前にWS参加者や地域住民向けに施設のお披露目会を行います。
みなさん、ぜひ足をお運びください。

日時：平成28年3月5日(土) 10:00～

場所：多世代交流拠点施設(横河原189番地4)

■実施日
1月20日

■場所
横河原公民館

当日の様子

これまでのワークショップで出された意見を元に作成した運営計画について説明しました。



グループに分かれ、「オープニングイベントについて」「運営方法や施設備品について」「施設の名称」について検討しました。



出された意見をグループごとに発表していただきました。
他のグループの意見も聞きながら、ワークショップ全体で意見の共有を行いました。



ワークショップでの意見

備品の調達・運営方法について

備品

- ・粗大ごみ収集日に呼びかけ（寄付）
- ・不足分は今後PR時に集める
- ・チラシや回覧で備品の募集

運営方法

- ・気軽に立ち寄り交流
- ・ボランティア謝礼でポイントを贈呈
- ・やりながら決め、将来的に変更可能
- ・予約は拠点で受け付ける
- ・鍵を市に取りに行く
- ・学生、PTA、老人会でスタッフ募集

施設の名称について

公募方法：市HPと窓口に応募箱を設置

応募点数：183点（全国から）

選定：類似名称をまとめ、WSで意見・選考

- | | |
|---------------|-------------|
| ・みんなの広場「やどかり」 | ・コミュニティよこがわ |
| ・おいで家 | ・わいわい茶屋 |
| ・Yテラス陽だまり | ・ほっこり横丁（茶屋） |
| ・ぷらっとよこがわら | ・みなくる |
| ・温温亭/温温プラザ | ・わいわいたーみなる |
| ・デアエール | よこがわら |

WSでの意見をまとめ、市で再検討のうえ決定し、後日、「号外」としてお知らせします。

オープニングイベントについて

【出されたアイデア】

写真展、1日だがし屋、愛大医学部学生のブレイクダンス、コンサート、俳句、詩吟の発表、実のなる木、ひなまつりとあわせたイベント、商店街のスタンプラリー、散歩コース、子ども向けの作品づくり、フラワーアレンジ、伊予鉄道歴史館、横河原商店街の電柱アート、野菜など地域の物品販売、B級グルメ、もちつき、もちまき、来館者で風船飛ばし、手形アートで桜の木を作る、どぶろくカフェ、ビアガーデンなど

イベント案

①みんなでつくろう！「〇〇〇」

手形アートやベンチなど、施設に飾るものや使っていくものを子どもたちと一緒に制作する。

②写真・俳句展・学生との連携・もちつきなど

横河原の今昔写真展、俳句展、駄菓子やジュースのプレゼント、高校生や大学生との交流、もちつき体験など、子どもが楽しめるミニイベントを開催する。横河原と路線バスで繋がる地域の特産品販売・交流も検討。